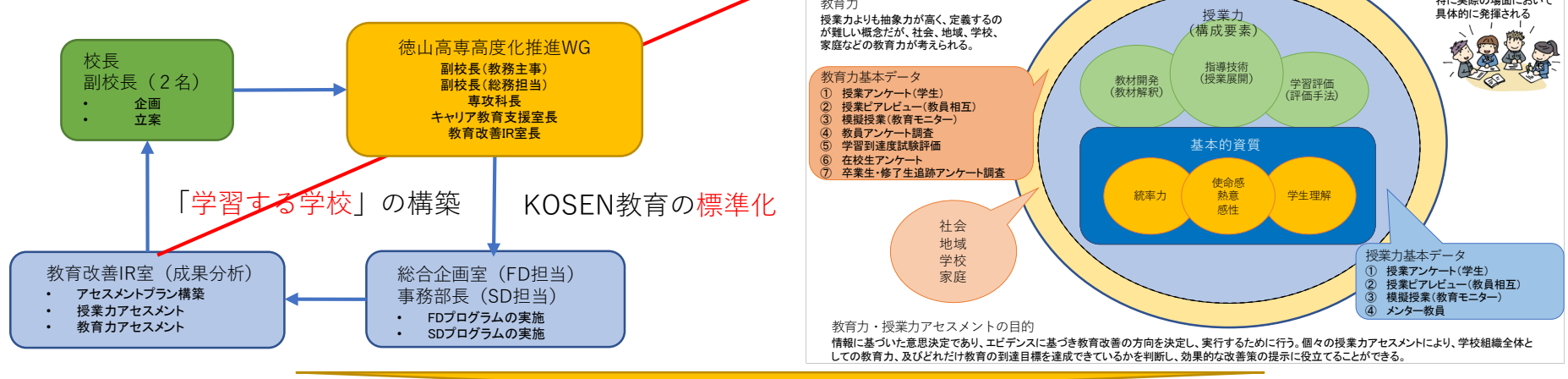


## ●実施概要

現 状	学校全体の教育力を上げようとする機運は、学校全体として「学習する学校」と言えるまで高まってはいない。すなわちポスト・コロナにおける授業のあり方は、いまだに対面（面接）授業を中心として考えている教員が多く、オンライン授業の良さを生かし、新しい教育スタイルを作り出そうという方向はまだまだ発展途上である。また「教育の質」をどのように保証するのか、標準化したテストに頼らない「学習評価」については、一部の教員を除いて、ほとんど議論がされていない。
目 的	急速に変化、多様化する予測不可能な未来において、学生たちが活躍するための能力を身につけられるような教育を提供するためには、標準化されたテストの成績に偏重した教育ではなく、KOSEN教育の在り方を再考し、教職員自らが研鑽を積む仕組みを構築する必要がある。本事業では、教職員が協働するKOSEN版FD/SDシステムを構築し、その全国的な展開を目指す。

## ●取組内容と実施体制の説明



定量的な成果目標	学生及び教職員のポートフォリオ使用率85%
成果指標（アウトカム指標）	卒業時の教育に対する満足度80%
成果指標の考え方	本事業への参加について、学生は「キャリア教育支援プログラム」、教職員には「New NormalにおけるFD/SDプログラム」として参加が義務化される。本事業により、自律的に学ぶ力が卒業時に育成されているのなら、成果指標としては、学生の卒業時から10年ごとの、本校における教育への満足度についてトランジションのアセスメントが望ましいと考えるが、まずは卒業時の教育に対する満足度として指標を設定する。10年単位のトランジションは、継続して今後調査する予定である。